



飛騨っ子



令和5年6月20日発行 NO3
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
 家庭教育推進専門職：水口 悟
 TEL: 0577-33-1111 (内線 235)
 E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

広がれ！ 家族みんなの笑顔

5月16・17・18日に開催しました「飛騨地区家庭教育学級等リーダー研修会」には、たくさんの方に参加していただくとともに、たくさんのご感想・ご意見をいただきました。ありがとうございます。研修会から学び得たことをそれぞれの立場からそれぞれの実態に合わせ楽しく取り入れてください。家庭教育学級の運営等に関わりご質問やご相談がありましたら、いつでも気軽に市村担当課また飛騨県事務所までご連絡ください。

<R5 家庭教育学級等リーダー研修会に参加して>

コロナ禍を理由にして、PTA 活動として位置づけていなかったのが現状です。今こそ保護者同士をつなぐことができる取組が優先されるべきだと感じます。前向きに捉え、実践していきたいです。 (小職員)

令和5年度 飛騨地区家庭教育学級等リーダー研修会

◇ テーマ 在宅取組型家庭教育学級に学ぶ

・ Web 開催にした理由

- ① 引き続きコロナ禍への対応(会場の分散・人数の限定)
*参加者は、各園・各校2名を基本
- ② 効率よい研修(移動時間の短縮・研修の焦点化)
- ③ 3市1村ごとの開催(地域の特色を活かす)

全園数:40
 全学校数:55

○ 参加率 83% (R4 74%)
 ○ 回答率 79% (R4 77%)



<下呂市星雲会館 サテライト会場 園関係者>

*コロナ禍による開催方法の変化

R1:会場開催(地区一斉) ⇒ R2:中止 ⇒ R3:書面開催 ⇒ R4・R5:Web開催(3市1村ごと)

家庭教育に関する講座・研修会などに参加して良かったこと (複数回答として集計)

家庭教育の大切さについて認識できた

子どもの気持ちを分かることができた

みんなも同じ悩みを抱えていることを知った

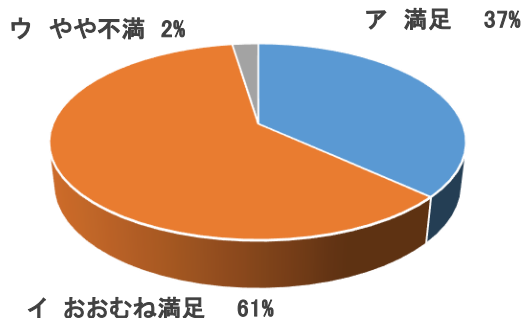
しつけの仕方を学ぶことができた

子育て中の仲間と知り合えた



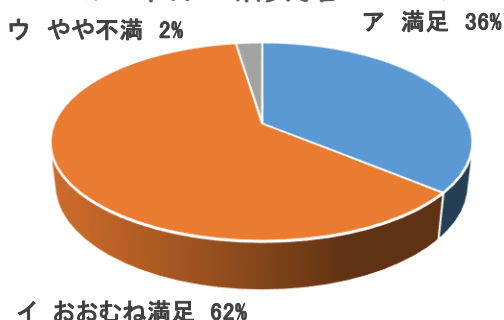
仕事中心となりがちな生活の中で、家庭教育学級を通して、今以上にわが子の成長に気付く・寄り添う・楽しむ・わが子の成長を自分自身の成長として捉え幸福感をもつ等のきっかけをつくることは、とても大切なことです。コロナ禍に留意しつつ、わが園わが学校が取り組んでいる行事や家庭教育学級に関心を一層高め、積極的に足を運び会話を弾ませてはいかがでしょう。わが子の姿を見たり保護者のみなさんと話したりすることで、きっとわが子育てについて再発見することがあるように思います。

Q1 オンラインによる研修について



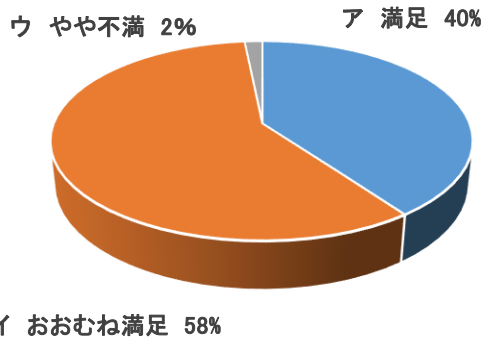
- ・学校担当と保護者担当と一緒に視聴でき、打合せも行いやすかった。(小職員)
- ・オンラインでの研修は2回目となりました。慣れてきたということもあり、昨年度より保護者の方とも余裕を持って研修に参加できました。(園職員)
- ・オンラインでも理解いたしました。交流タイムなどあると楽しかったと思います。(小保護者)
- ・他の園や学校と交流する時間があってもよかったかと思いました。(小職員)

Q2 本日の研修内容について



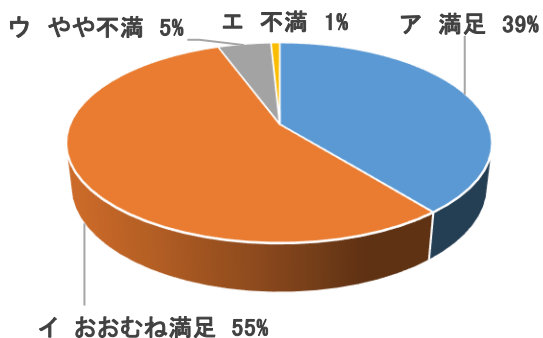
- ・本園で計画している10秒間の「にこにこぎゅっぎゅータイム」は、家庭教育のポイントにあった親の自己肯定感を高める取組につながると思いました。(園保護者)
- ・今年度は、取り組んでいる「話そう!語ろう!わが家の約束」運動の意義を全家庭に広げること、また各家庭の取組内容をあたたかく平易で、家族みんなが嬉しくなるようなものにしていくことを啓発すること、この2点を改善することを委員長さんと話し合いました。(小職員)

Q3 本日の資料について



- ・コロナ禍でなかなかできなかったのですが、今年度再開を考えていた取組がこの研修の方向性と同じだったので、より実践に力が入ります。(小保護者)
- ・家に帰ってからも読んでみたいと思いました。QRコードの資料などわかりやすくて良かったです。(園保護者)
- ・今どきのお父さんは入園式や卒園式にも参加し子育てに協力的です。わが子との関りを振り返る機会や研修を持つことは、とても良いことだと思いました。(園職員)

Q4 県の情報(動画教材など)について



- ・動画コンテンツなど様々な情報や教材があることを知れて良かった。今後、委員会のメンバーと共有・活用していきたい。(中保護者)
- ・各家庭ではなく、学級懇談会で動画を活用できればと思います。(中職員)
- ・今年度の毎月のお便りに一つずつ教材のQRコードを載せて、各家庭で視聴するきっかけになれば・・・と思います。(園職員)
- ・どうして家庭教育学級を取り組む必要があるのかわかりやすくなるかなと思いました。(小保護者)



飛騨地区(3市1村)家庭教育学級リーダー等研修会 研修資料アンケートより

(みなさんの声…ありがとうございます! 一部を紹介します。)

Q5 あなたの所属で行われている家庭教育学級について、お気づきの点があればお書きください。どんなことでも結構です。



わが子も中学生となり、親と一緒に関わる機会も少なくなってきたと感じます。寂しくも思いますが、わが子の成長も感じています。自己肯定感を高める(褒め方等)の関りを考えていきたい。(中保護者)



わが子が生まれてから、家庭教育学級の体験型・サロン型・講演会型などに自然に参加していたんだなと思いました。私の地区はとても参加しやすいと思いました。わが子と過ごす時間があまりないと思うと、1日1日を大切にしていきたいなと思いました。今日の研修を他の保護者の方にも伝えられたらなと強く思いました。(園保護)

研修を受けて改めて家庭と学校が子どもたちを育てるために連携し取り組むことの重要性を感じました。子育てにどのような悩みや不安を抱えているのかをアンケートなどで声を聞き、今後の取組を考えたいです。(小職員)

今年度、本校で取り組みたかった内容を県のHPや〇〇中学校の実践をもとに役員さんと考えることができました。冬休みに在宅型で取り組んでみます!(中職員)



正直、初めは家庭教育学級ってそもそもどういう意味?って思っていました。夏休みに大きく計画して取り組むことや外部講師の方のお話を聞くというのも良いと思うけれど、もっと身近に考えて毎日の生活の中でも簡単な事でもよいから意識して取り組むことが大切だということを保護者のみなさんに周知し広められると良いなと思いました。(小保護者)



「家庭教育学級」の取組とは意識せずに行っていた行事も、実はそうだったということも分かり、これからは意識してさらに良い取組にしていけば良いと思いました。(小保護者)

昨年度まではコロナ禍でできなかったD子育てサロン型やA園行事参加型も実施予定です。また、引き続きE在宅取組型も実施します。保護者の方が少しでも子育てを楽しんでもらえるように、そして少しでも子どもと触れ合う時間を持ってもらい、大切に感じてもらえるようにしていきたいと思います。(園職員)

・今まで、学校やPTA〇〇委員会から言われるまま、取組の意味や大切さを知らずに行っていましたが、「何のために行うのか!」を理解して行う必要があると思いました。(中保護者)